

実用鶏の性能調査

油布英明・池田公良・森 泰良・井村孝一(大分県農業技術センター)

YUFU, H., K. IKEDA, Y. MORI and K. IMURA : Performance Test of Commercial Layer

多くの実用採卵鶏が市販されているが、それらの卵用鶏の中から県下に導入され比較的普及度の高い4銘柄を選んで、その性能比較試験を実施した。

今回は特に各銘柄のマニュアルに示された体重に合わせるため飼料給与量を調整し、産卵性、飼料の利用性、卵質等を検討した。

1. 試験方法

1) 供試鶏及び試験区分 第1表に示した。

第1表 供試鶏及び試験区分

区分	銘柄	羽数	餌付期	備考
1	ハーバード・コメット	100	1981.3.21.	4反復で実施
2	シェーバースタークロス288	〃	〃	〃
3	バブコックB-300V	〃	〃	〃
4	ハイライン	50	1981.3.22.	4反復で実施

2) 試験期間 1981年3月21日あるいは22日～1982年6月14日あるいは15日までの450日間。

3) 飼養管理 餌付より28日齢まで電熱バッテリー育雛器, 29日齢から70日齢まで中雌ケージ, 71日齢から136日齢まで大雌ケージ, 137日齢以降は成鶏ケージに単飼収容した。体重は4週齢, 6週齢及び8週齢以降は毎週各区20羽, 合計80羽をランダムに測定し, 各銘柄のマニュアルに示された体重に合わせるように, 飼料給与量を調整した。飼料は, 市販の配合飼料を用いた。衛生対策は, 当センターの慣行に従って実施し, 光線管理は, 50%産卵到達時より17時間一定とした。

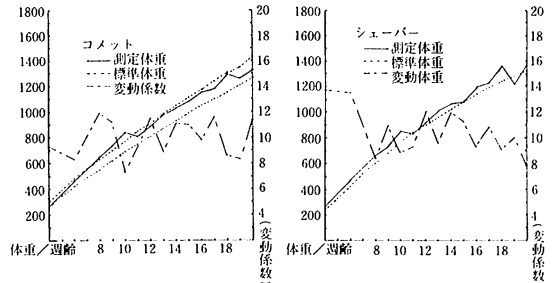
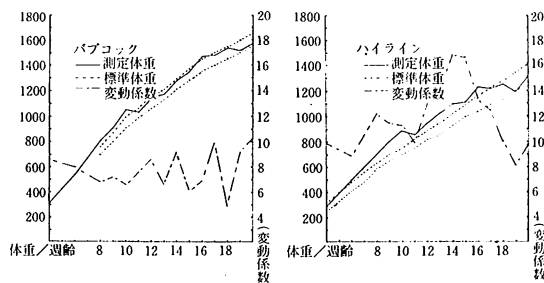
2. 結果及び考察

1) 強健性 育成率・生存: 各銘柄間に有意差は認められなかった。

第2表 育成率及び生存率

	1	2	3	4	検 定
育成率 (%)	93.0	99.0	94.0	97.0	—
生存率 (%)	97.8	99.0	91.5	96.0	—

2) 体重 20週齢までの体重曲線は, 第1図のように推移した。コメットのみが斉一性にすぐれていた。



第1図 体重曲線

3) 産卵性 50%産卵到達日齢: ハイライン及びバブコックが最も早く, 次いでコメット, シェーバーの順であった。産卵率は(L+M+Ms 規格別卵重重量構成比及び個数構成比)各銘柄間に有意差は認められなかった。平均卵重, 日産卵量はシェーバーはコメット及びバブコックに対し, 有意に生産量が多かった。

4) 飼料の利用性 飼料日量: シェーバーはコメットに対し, 有意に消費量が多かった。飼料要求率は各銘柄間に有意差は認められなかった。

5) 卵質 ハウユニット: シェーバーは他区に対して有意に優れていた。各区の日齢間には有意差が認められ, ハウユニットは, 日齢と共に有意に低下した。卵殻厚はバブコックはコメットに対し有意に厚かった。卵型係数は各銘柄間に有意差は認められなかった。

第3表 産卵性及び飼料の利用性

	コメット	シェーバー	バブコック	ハイライン	検 定
50%産卵到達日齢(日)	157.3 ^a	165.0 ^b	149.3 ^c	144.3 ^c	※※
産 卵 率(%)	78.8	81.9	78.3	77.2	—
平均卵重(g)	59.8 ^a	61.8 ^b	58.3 ^a	60.3 ^{ab}	※※
日産卵量(g)	47.1 ^a	50.6 ^b	45.6 ^a	46.6 ^{ab}	※※
総卵重量(g)	1296.9	1495.5	1214.8	682.02	—
規格L+M+Ms 個数構成比(%)	87.3	85.1	83.9	77.5	—
規格L+M+Ms 重量構成比(%)	88.0	84.2	85.9	79.2	—
規格L+M+Ms 卵重(g)	1141.3	1259.2	1043.5	540.2	—
飼料日量(g)	113.5 ^a	122.3 ^b	113.6 ^{ab}	112.0 ^{ab}	※※
飼料要求率	2.41	2.42	2.49	2.41	—

※※: P > 0.01 異文字間に有意差有り

以上の調査結果は, 養鶏農家がひな導入の指針として利用できるものとする。